

## 地域文化の振興・人づくりに貢献した活動を表彰 一関文化賞として顕彰

NPO法人一関文化会議所 理事長 内田 正好

11月10日の菊薫る秋晴れの佳き日、御来賓に一関市長勝部修様を初めたくさんの方々に御臨席を賜わり、平成27年度第25回「一関文化賞」の表彰式典を執り行うことが出来ましたことは大変嬉しいことであり関係各位の皆様にご心より感謝を申し上げます。

また、日頃から私共特定非営利活動法人一関文化会議所の事業や活動につきまして、皆様から温かい御理解や御支援を戴いていることに対しましても、改めて御礼申し上げる次第でございます。

さて一関文化会議所では、創立の目的に「ふるさと創生」「文化の創造」を掲げ、「潤いのあるまちづくり」を目指しながら各種事業の展開を図っております。その中で顕彰事業としての「一関文化賞」は、一関文化会議所が設立されたときから主たる事業として取り組まれてきたものであります。文化・芸術の振興、活力あるまちづくりや人づくり等の分野で、地道にそして顕著な研究や活動を重ねられた方々を顕彰させて戴いております。



表彰式で式辞を述べる内田理事長

今年度の「一関文化賞」は、地域文化部門「岩手県南史談会」様、そして人づくり部門「一関合唱連合会」様の二つの団体の方々でございます。

「岩手県南史談会」の皆様は、昭和28年以来岩手県南宮城県北を中心とした歴史・文化の調査研究を積み重ねられ、数多くの研究紀要を発刊されました。また、一関市史編纂のために精力的に取り組まれた御功績は誠に大きなものがございます。

また、「一関合唱連合会」の皆様は、昭和49年以来地元有志と関係者の方々の御協力により県南初の「第九演奏会」を契機に、その後活発な合唱活動を続けられ、今では「合唱のまち一関」とまで全国に知られるようになりました。そして多くの若い方々や高校生・中学生諸君が、後に続けとばかりに育っているところでございます。

この度受賞された2団体の皆様方が、今後さらに研究活動や発表活動に取り組まれ、当一関地方の歴史・文化の創造と継承発展のために、益々御活躍されることと合わせて、両団体のさらなるご発展を心より御祈念申し上げます。



祝賀会で一関市民歌を熱唱する一関合唱連合会の皆様

## 第25回（平成27年度）一関文化賞

# いわてけんなんしだんかい いちのせきがっしょうれんごうかい 岩手県南史談会と一関合唱連合会に

第25回(平成27年度)一関文化賞の表彰式は、11月10日、ホテルサンルートを会場に執り行われ、当地域において文化・芸術の振興、活力あるまちづくりや人づくり等の分野で貢献された2団体を表彰し、その功績を讃えました。

地域文化部門で、地道な研究とその成果の発表により当地方の歴史・文化の解明に貢献されている岩手県南史談会、人づくり部門で長年にわたり一関合唱祭や東日本合唱祭等の開催・発表活動を通じ、心豊かなふれあいのまち、合唱のまち一関を情報発信し、市内中・高校等の合唱レベル向上に貢献されている一関合唱連合会を表彰しました。

式では、内田正好一関文化会議所理事長の式辞のあと、受賞者に表彰状とトロフィーが手渡され、一関市長等ご来賓から祝辞を戴き、受賞を讃えました。また、受賞者の方々からは感謝と今後のさらなる活動への決意の言葉を戴きました。



「岩手県南史談会」高橋龍夫事務長と  
「一関合唱連合会」阿部興紀会長

### 【受賞者の紹介】

奨励委員会委員長 阿部 睦

#### 一関文化賞「地域文化部門」

### 岩手県南史談会

岩手県南史談会は、昭和28年(1953年)2月に岩手県南・宮城県北地域を中心とした歴史、文化の調査研究を活動目的に「県南史談会」として発足。昭和34年に名称を「岩手県南史談会」に改め活動しています。62年に亘るこれまでの活動は、会員の地道な努力・究明による研究成果が積み重ねられ、地方の歴史の学問的基礎を構築することになり、調査研究の成果は「研究紀要」として発刊され、当地方の歴史・文化の解明に貢献しています。

昭和44年(1969年)4月一関市において市史編纂委員会が発足し、岩手県南史談会の主だった会員が委員に委嘱され、会の活動を制約しながらも歴史・文化に精通した会員の尽力により、昭和53年「一関市史」として編纂されております。

年2回発行されていた会報「県南史談」は25号、会員相互の研鑽、研修の発表を論文としてまとめられた「研究紀要」は44集に及んでおり、これらの刊行物を含めその影響は、地域学習講座、講演、カルチャースクール等の歴史・文化の基本的な情報としてその役割を果たしており、岩手県南史談会による歴史・文化の地道な積み重ねによる解明は、当地方の文化的、創造的活動に大いに寄与し、その功績は大であります。

#### 一関文化賞「人づくり部門」

### 一関合唱連合会

一関合唱連合会は、昭和56年(1981年)創立。その始まりは41年前の昭和49年(1974年)、岩手県内初の「第九演奏会」が地元有志・関係者の努力により開催され、この開催を契機に演奏会に参加した合唱団員を中心に、多くの合唱団が一関市内に誕生し、それまで1団体のみであった合唱団に7団体が加わり一関合唱連合会が創立されました。現在は20団体の社会人合唱団が加入しています。

一関合唱連合会の主な活動は、

本年度で第42回目となる「一関合唱祭」

第26回目となる「東日本合唱祭」

第13回目となる3年に1度の「いちのせき第九演奏会」

第12回目となる「東日本合唱祭招聘合唱団と中学校の合唱交流」

の運営母体となり、合唱愛好者だけでなく全ての市民が合唱を愛し、合唱のまちにふさわしい、きれいなまち、心豊かな人々が集うまちを願い活動を続けています。

これら長年の活動を通して、市民に合唱の素晴らしさ、楽しさを伝え、共にステージに立ち、声と声の輪、壮大なハーモニーを体験させ、感動を与えてきました。

これらの活動によって、中学生、高校生、社会人の合唱レベルは向上し、全日本合唱コンクール東北大会、全国大会で金賞、銀賞を数多く受賞することが出来たのも、一関合唱連合会の一丸となった取り組みの成果であり、その功績は大であります。

# ふるさと学習院175名が受講

## 現地探訪～開山1300年の古刹「慈恩寺」を訪ねる

本年度のふるさと学習院は、講座では一関地方の民俗に着目して、「神楽」「文化財」「本寺の生活と景観」について講師からお話をいただきました。また、現地探訪では山形県立博物館で国宝の「縄文の女神」を真近に観て、天童「若松寺」では山岳宗教の特質と祈

事業委員会委員長 工藤 武

禱寺としての「若松様」についてご住職の説明をいただき、さらには、江戸期には寺領2800石余を有した寒河江「慈恩寺」では、宗派が法相、天台、真言と変遷したこともあり多種の仏像と広い伽藍を擁し、平泉とは異なる趣を感じました。



閉講式記念講座



現地探訪参加の方々

### ふるさと学習院

回	開催日	内 容 (テーマ)	講 師	受講者数
1	6月22日	開講式 開講式記念講座「一関地方のおかぐら」	平泉舎代表 千葉 信胤氏	49人
2	7月27日	「一関市の民族文化財の今とこれから」	日本民俗学会員 東 資子氏	39人
3	9月16日	現地探訪「東北地方の文化・風土の源流を訪ねる」		45人
4	10月21日	閉講式記念講座「一関中山間地に息づく村々の暮らし」 閉講式	東北芸術工科大学 専任講師 竹原 万雄氏	42人

### 平成27年度NPO法人一関文化会議所子どもスペシャル

#### 春休み親と子のコンサート

#### “ズーラシアンブラスと弦(つる)うさぎ” 音楽の絵本

金管五重奏のズーラシアンブラスと弦楽四重奏の弦うさぎ……  
動物たちが織りなす不思議なクラシックコンサート「音楽の絵本」の世界へようこそ!!

「森のくまさん」「虹の彼方に」「フニクリフニクラ」等の演奏を予定しています。親子でお楽しみ下さい。

平成28年3月26日(土) 開演14時00分  
一関文化センター 大ホール

#### 【チケット全席指定】

前売：2歳～中学生 500円 大人1,000円  
当日：2歳～中学生 600円 大人1,300円

- ・2歳未満は保護者1名につき1名まで膝上鑑賞無料(着席鑑賞は有料)
- ・チケットは一関文化センター、さとう屋楽器店、小原書店、コンビニなどでお求めいただけます。



# 「東大生出前科学授業」・「ふるさと子ども探検隊」 感動、感激を体感！

子ども委員会委員長 伊藤 勝 義

「東京大学サイエンスコミュニケーションサークルCAST」のメンバー7人による「東大生出前科学授業」を、今年度は8月27日に東山中、28日に一関中学校で実施しました。

東大生よりILCの紹介、光の性質について実験や工作を交え説明して戴きましたが、参加した生徒からは「分かりやすく面白かった。」などと好評でした。

また、11月14日には藤沢地区の小学生を対象に「ふるさと子ども探検隊」を実施しましたが、参加の児童からは地域にある文化遺産の素晴らしさや先人の偉大さに感銘した等の感想を戴き、企画した者としての喜び、今後の事業実施の励みになっています。



ふるさと子ども探検隊



東大生出前科学授業



## 研修・視察事業

# 「縄文文化と現代芸術の探訪」

総務委員会委員長 阿部 儀 信

今年度の研修・視察事業は、86名のご参加をいただいで7月10日に素晴らしい好天に恵まれた中で実施できました。

早朝、一路東北・八戸自動車道を北上、最初に青森県十和田市の十和田市現代美術館を訪問。美術館入り口で、大きな花模様の馬のモニュメントの歓迎を受け館内の各アート展示物を鑑賞。次に八戸市の是川縄文館で地元ボランティアガイドさんの分かり易い丁寧な説明を受け、今の我々の生活の手本にも成りうる縄文人の暮らしや文化を学びました。



十和田市現代美術館と参加の方々